

JA新すながわ



謹んで新春のご挨拶を

申し上げます

地域農業の発展とJA協同活動に組合員皆様の
ご協力をお願い申し上げ、新春のご挨拶と致します。

新砂川農業協同組合

代表理事組合長

林

専務理事

渡部

常務理事

山田

理事

岡本

理事

尾崎

理事

樋口

理事

後藤

理事

小野

理事

高田

理事

岡田

理事

前田

代表

大澤

常勤

渡邊

監事

三谷

芳夫

將

一

拓

司

幸

夫

作

学

正

広

志

之

三

外
職
員
一
同

年頭にあたり

新年のご挨拶

新砂川農業協同組合 代表理事組合長

林 誠



令和六年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より農協事業運営に対し深いご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

長期化されていた新型コロナウイルス感染症も感染者数が減少傾向となり、五月の連休明けより感染症の位置づけが五類へと移行されました。行動制限がなくなり、屋内でのマスク着用についても原則不要になりました。これにより停滞されていた経済活動も大きく期待されるようになり、経済効果は四兆円の予想がな

されました。

世界の情勢では今でも続くロシアのウクライナ侵攻、ウクライナの被害は一般市民にまで影響が及んでいます。広いロシアやウクライナは資源国ではありますが、貿易を制限することで世界的に資源不足となり物価上昇などが発生しています。石油や天然ガスが手に入りづらくなっており、農産物については、小麦やトウモロコシ等供給不足が続いている状況であります。また、肥料原料も中国の輸出制限が依然として続く中、輸出国の輸出制限の動向によっては市況が反転上昇する可能性もあり予断を許さない状況は続くと思われ、昨年同様、もう一つは、古くから続くイスラエルとパレスチナ問題であります。激しい武力衝突が起き双方に多大な犠牲者が出ています。さて、昨年も、空知管内で

は例年より雪が多く降りましたが、春先の気温が高く融雪が進み春作業も順調に平年並みと思えます。令和五年産の農作物では、六月後半から雨が少なく干ばつ気味でありました。七月から八月にかけて三〇度を超える猛暑で湿度も高く真夏日が三〇日もあり北海道では記録的な夏でありました。降水量も少なく生育も平年並みかやや早く進んでいきました。基幹作物の米については北空知管内の作況指数一〇二の「やや良」となりましたが出穂期以降は高温多照傾向であったほか強風により、各地域では倒伏が多くなりました。品質低下につながったため、酒米、飼料用米を含め昨年より二万五千俵少ない九万五千俵余りの集荷となりました。ゆめぴりかの低蛋白率は六・一％、基準品率については四九・一％の結果となりました。暖かい空気が流れ込み記録的な異常高温の条件下で生産者の方々の努力もありましたが、乳白粒が多たんばくも高め、製品率も平年より一〇％

程低くなりました。

主要青果のキュウリについては、収穫量は少なかつたが単価高の結果になり昨年の販売取扱いと同額でありました。トマト、ミニトマト他等は断続的な高温環境の中、夜の温度も下がらない影響で光合成が停滞してしまい花落ち等果形もあまりよくなく収穫量は減の結果となり、取扱高は七億一千万円となりました。玉葱の極早生品種についても高温干ばつの影響で小玉傾向や品質低下となり、規格では「L」が中心となりました。今現在の市場状況は取扱量が少ないため昨年度と同額に近い単価であります。異常気象の中、生産者の皆様には大変なご苦労があったかと思えます。改めて、皆様の力強い生産活動に心から敬意と感謝を申し上げます。

現在、国では食料・農業・農村基本法の議論がなされており、食料安全保障の強化や農業予算の確保、国民一人ひとりの食料安全保障や環境に対応した持続可能な農業、人口減少の中での農業基盤の確立等安心して農業が出来る

よう所得増大・農業生産の拡大も大事であります。肥料や農機等の農業生産資材コストの高騰により生産現場は営農継続が危ぶまれるほどの甚大な影響を受けており、国産農畜産物の安定生産に支障をきたしかねない危機的な状況となっております。当組合としましても、それぞれの事業活動を通じて組合員の皆様と向き合いながら、なくてはならない存在として役員一丸となり農業の振興、地域の活性化に貢献し全力で取り組んで参りますので、今後とも組合員皆様のご理解とお力添えを賜ります様よろしくお願い申し上げます。今年甲辰の年、勢いよく活気あふれる年になると言われています。農業を巡る環境は、かつてない困難な状況下であります。情勢が変化し明るく前向きな年になることを願うばかりです。結びになりますが、この一年皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

新砂川農業協同組合 専務理事 渡部 延三



組合員の皆様におかれましては新しい年を恙なく迎えられましたことを謹んでお喜び申し上げます。

旧年中は農協事業に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年のお天候については三月から好天に恵まれ雪解けが進んで春作業も順調に行われましたが、六月は低温傾向、七月以降は一転して今までに経験したことのない異常高温が長く続いた他、干ばつもあり、酪農を含めた農産物全般に多大な影響を及ぼしました。青果物は高温の影響を受けたため着果不良による花飛びや日焼け果などが発生し、高単価が期待できる九月以降の収量が激減、大玉トマトでは十月十二日に共販が終了、ブロッコリーも同様に秋作の収穫ができない状態となりました。

水稲は台風七号の襲来により稲が倒伏して未熟粒や乳白粒の発生、タンパク値も高く、米全体の集荷量は前年対比で七七・九%、ゆめぴりかの基準品は四九・一%、低タンパク米は六・一%と著しく低下いたしました。

ソバの実も落粒など昨年対比で三五%を下回る結果となりました。

玉ねぎは干ばつの影響で小玉傾向となった他、高温のため日焼け果などの障害も発生。すべての品目が昨年と比べて激減の収量となりました。

国連グテーレス事務総長が地球温暖化の時代から地球沸騰の時代にステージが変わったとの発言も頷けるものであります。

国政では食料・農業・農村基本法の整備に向け議論が行われていくところですが、長期化するロシアのウクライナ侵攻に加え、イスラエル・パレスチナとの紛争や円安傾向、中国経済の衰退など燃油や電気、生産諸資材高騰を助長する懸念があります。

また、頭数が増えたため頻繁に市街部まで出沒するヒグマにも注意を要します。日本農家の平均年齢が六八歳と高齢化するなか、今後新規就農を増やさなければ日本農業は衰退が予想され、あらゆる面において生産者が安心して今後営農が出来る環境整備のために、海外輸入に極力依存しないよう国内食料自給率を上げ、その在り方や価格形成について農業は農家だけではなく、消費者も同じ価値観を共有するよう法制度化や消費者の理解醸成を強く要望するところです。

結びになりますが、昨年は新たな取り組みとして無化学肥料・無農薬米やきさら397の後継品種、空育195の栽培の取り組みも行われ、今後の一助として期待するとともに、当組合農産物のブランド力を更に向上させるよう励んでまいります。

生産者の皆様がこれからも安心安全で消費者に好まれる農産物をより多く生産されることをお願いし、生産者皆様のさらなる生産技術と所得向上を応援、今後とも生産物の有利販売に努めてまいります。

本年も農協事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様にとってすばらしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向けて日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

令和六年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 樽井 功



組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向けて日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雪被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね平年並みに推移しておりまして、しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症

の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっております。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食糧物を輸入に頼っているのが日本の現状です。食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割は、今後ますます

道農業への期待は、今後ますます

ます大きくなるものと考えております。JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります。行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年、第31回JA北海道大会が開催されます。また、第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のプラットフォームである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広

めて参りましょう。結びになります。本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

新年のご挨拶

砂川市農民協議会 委員長



壽松木

裕

います。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といた

令和六年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。皆様におかれましては、ご家族おそろいのご健勝にて新年を迎えられたところとお慶び申し上げます。また、日頃より当農民協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は積雪が多かったものの順調に雪解けが進み、水稲、玉葱、そば、施設園芸につきましては、降雨による天候不順はあつたものの、播種・定植ができて何とか良いスタートとなりました。六月から七月上旬は気温が低い時期もありましたが、七月下旬より好天に恵まれ気温

も上昇し作物の生育も盛んになり、水稲では前年以上に茎数も増えて豊作のように見えました。しかし、八月から九月が猛暑となり朝も夜も気温が下がらず稲刈りは八月下旬から始まるという私も過去に経験したことのない年でした。稲の見姿は良い感じに見えたのですが、コンバインに舂が溜まらず何度も降りて後ろを確認しました。

昨年は、お米につきましては、収量は少ない、製品率も良くない、低タンパク米も非常に少ないと近年稀にみる不作となりました。玉葱につきましても高温と雨不足で小玉傾向で製品率も良くなり不作でした。施設園芸につきましては、製品単価は高値で推移しました。しかし、個人差はあります。しかし、個人差はありますが少雨、高温、残暑で収量が激減となり全ての作物が良くない結果に終わ

一昨年とは違い生産者には厳しい年となりました。また、米価はだんだんと上向きとなつていますが、資材、肥料や燃油の高騰で経費がかさんでおり、より一層厳しい状況です。

一方、農業情勢につきましては、水田活用や畑地化の問題は一昨年よりはつきりと方向性が決まりましたが、予算の問題などが残されているように思います。

海外に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ問題、台

新年のご挨拶

奈井江町農民協議会 委員長



令和六年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

盟友の皆様におかれましては、ご家族そろって希望に満ち溢れた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より当協議会の活動に対しまして深いご理解とご協

湾有事と我々日本にとつても深刻な問題であり、日々注意が必要かと思えます。本年は昨年以上に我々農業者を取り巻く情勢は厳しくなると思っています。上部組織と力を結集して運動を進めてまいりますので、盟友皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

最後となりますが、本年も皆様におかれましてはご健康でご多幸に活躍され、豊穰の秋を迎えられますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大西 暁陽

を頂き、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年五月より新型コロナウイルス感染症の位置付けは五類に移行し、コロナ禍からの経済活性化により農産物の中・外食需要が回復傾向にあり、価格も上向いている一方、物価高騰による節約志向が続いており、生産者の思いと消費者の感覚では乖離があるように思われます。さらに国際紛争や円安の進行により、飼料・肥料・燃油をはじめとした生産資材の高騰が農業経営に与える影

響は甚大なものとなつていま

令和五年度、農作物の作柄を振り返りますと、水稲においては、北空知地域作況指数一〇二の「やや良」となりましたが、出穂期以降の猛暑の影響で白未熟粒・ねじれ粒が多く発生し、製品歩留まりと低タンパク率の低さが目立つた年でした。また、当JAにおいて、主軸の「ゆめぴりか」は低タンパク率六・一%、基準品率四九・一%と大変厳しい結果となりました。近年お米の消費量は年々減少しており、販売が計画通りに進まず、民間在庫が過剰となつていま

また、農政に目を向けますと、水田活用の直接交付金の見直しによる畑地化促進事業への十分な予算確保、食料・農業・農村基本法の見直し、さらにはSDGsの理解を図りながら脱炭素社会への協力をしていかなければなりません。我々農民協議会としては、近年の情勢を考慮しつつ的確に重点課題を整理して現状を踏まえ、生産現場の声を上部組織・関係機関とともに、国や道へ訴えかけていく運動及び基本計画の実効性確保に向けた活動を行って参りたいと思っております。

終わりとなりますが、本年も我々農業者を取り巻く情勢は厳しいものと予想されます。

奈井江町農民協議会一丸となつて運動を進めて参りますので盟友皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。本年も皆様にとりましてご健康とご多幸で活躍され、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

新砂川農協青年部 部長



近藤親吾

新年あけましておめでとうございませう。令和六年の新春を迎え、皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃より青年部活動に対しましてご家族、JA、各関係機関、組合員の皆様方にはご理解、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

基幹作物である昨年の水稲の生育は全国的な猛暑の中、北海道においても例外なく平均気温を大きく上回る気候が続いて降水量も少なく、高温障害や強風による倒伏被害など、製品歩留りの減少や農業所得の減少が懸念される年となりました。

昨年の青年部活動を振り返りますと、新型コロナウイルスが五類となり感染対策に細心の注意を払いつつもようやくコロナ以前の活動に戻ってきました。

八月には奈井江産業祭、十月にはJA農業祭がどちらも四年振りの開催となり、米ドーンとポップコーンの販売を行い盛況のうちに終わることができました。また、奈井江産業祭での綱引き大会では精鋭を集め優勝することができました。

食育活動では砂川中央小学校と奈井江小学校でポップコーンの播種から収穫、そして試食をさせていただきました。

その他にも奈井江町こども園では野菜クイズや米ドンの見学と試食を体験してもらい、子ども達の笑顔や美味しいという声が聞けてとてもうれしく、食について興味を持ってもらったのではないかと思います。

秋の研修旅行では、北海道ポールパークFビレッジにある農業学習施設KUBOTA AGRIFRONTにて農業の未来や課題について学び、その後エスコンフィールドHOKKAIDOを見学し、とても良い経験となりました。

農業を取り巻く環境は日々目まぐるしくかわり、様々な問題が山積みする中、我々青

年部組織の役割と必要性を今一度見直し、一丸となつて今後も活動していきたいと思っております。最後に参りますが、JA、盟友、各関係機関、組合員の皆様方には今後とも更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。今年一年が皆様にとつて幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

新砂川農協女性部 部長



堀 美 鈴

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は、令和五年二月十五日の総会で役員七名、部員六名で二六年目の女性部がスタートし、五月にコロナの感染リスク区分が五類に移行されたことにより本来の活動計画を実行できるようになりました。ここ数年は、部員の皆様に年二回の古紙回収、また、タオル一本運動に協力を依頼することばかりで心苦しく思っていました。念願の一泊旅行が実現できたことが大きな喜びでした。

今回は多くの皆さんに参加していただき白老・洞爺方面を楽しみました。廃校した学校を利用したポプリ作り体験、おしゃれた昼食、洞爺湖を一望できるホテルにて久しぶりの一泊に、酔うほどに語るほどに楽しい夜は更けたと思います。帰路は春に

オープンしたばかりのモユクサツポロ内の水族館を見学しました。
また、コロナ期間は行われなかった奈井江町の産業祭・JAの農業祭等も再開され役員総出で七時から併せて一五〇キロ分のおにぎりを握りました。

農業を振り返りますと、信じられない猛暑の中での作業は大変でした。大きく変わる農業政策・農業体制、そのうら暑さを背負って来年もがんばれるよう、そのために女性部の楽しい活動が源となります。よう取り組みたいと思います。



令和6年度 営農計画書の提出について

	砂川地区	奈井江地区
日 程	1月18日(木) 午前：富平・空知太・市街 午後：北光・花月	1月15日(月) 午前：瑞穂・白山 午後：大和・巖島
	1月19日(金) 午前：焼山・一の沢 午後：吉野・鶉・宮城の沢	1月16日(火) 午前：茶志内 午後：高島・宮村・市街
	1月22日(月) 午前：東豊沼 午後：西豊沼	
受付場所	■本所 営農資材センター	■奈井江支所 2階大会議室
受付時間	各会場 午前9:00~11:45、午後13:00~16:30まで	
必要なもの	受付には「クミカン取引をする印鑑」をご持参下さい。	
備 考	・本所では、営農計画書提出と合わせて免税軽油の申請受付も行います。	

令和5年産米入庫実績報告

令和5年産米の入庫実績は95,561.5俵(前年対比26,396俵減)となりました。

全品種の低タンパク米率は3.9%、ゆめぴりかの基準品率は49.1%、低タンパク米率6.1%です。

(令和5年11月9日付)

	きらら397		ななつぼし					ゆめぴりか								
	一般	一般	高度CL	特裁	2等	合計	タンパク比率	一般	節減	高度	特裁	無農薬 無化学	2等	合計	タンパク比率	
低タンパク		567.5		89.0		656.5	2.6%							13.5	13.5	
一般	12,027.5	13,029.0	424.5	2,152.5		15,606.0	61.8%									
区分8		5,592.0				5,592.0	22.2%									
区分9	2,962.0	3,391.0				3,391.0	13.4%									
第1区分SS					6.0	6.0				0.0	0.0	0.0		0.0	0.0%	
第1区分S								1,243.5	0.0	416.5	1,102.5	0.0		2,762.5	6.1%	
第1区分								6,627.0	501.5	2,226.0	10,282.0	35.5		19,672.0	42.6%	
第2区分								13,561.5						13,561.5	29.3%	
第3区分								10,166.0						10,166.0	22.0%	
2等以下	0.0	0.0						0.0						0.0		
合計	14,989.5	22,579.5	424.5	2,241.5	6.0	25,251.5		31,598.0	501.5	2,642.5	11,384.5	35.5	13.5	46,175.5		
(うち超過米)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
(うち加工用米)	0.0	0.0	0.0			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
令和4年産実績	20,740.5	32,285.0	595.0	2,577.0	0.0	35,457.0		31,101.0	1,900.5	3,948.0	20,202.5		0.0	57,152.0		

	きたくりん			空育195	ふっくりんこ			えみまる	うるち米 合計	酒造好適米		飼料用米(※)		合計
	一般	2等	合計	一般	基準品	2等	合計	一般		きたしずく	彗星	飼料用玄米	SGS	
低タンパク		8.0	8.0	0.0	115.5	52.0	167.5		845.5	0.0	0.0			845.5
一般				120.0				1,386.5	29,140.0	144.0	397.5			29,681.5
区分8									5,592.0	0.0	0.0			5,592.0
区分9									6,353.0	0.0	0.0			6,353.0
第1区分SS									6.0					6.0
第1区分S									2,762.5					2,762.5
第1区分									19,672.0					19,672.0
第2区分									13,561.5					13,561.5
第3区分									10,166.0					10,166.0
2等以下				0.0				0.0		0.0	0.0	5,101.5	1,820.0	6,921.5
合計	0.0	8.0	8.0	120.0	115.5	52.0	167.5	1,386.5	88,098.5	144.0	397.5	5,105.5	1,820.0	95,561.5
(うち超過米)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(うち加工用米)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和4年産実績	16.0	0.0	16.0		248.5	0.0	248.5	887.5	114,501.5	130.5	479.5	4,489.0	2,357.0	121,957.5

※) 飼料用米、SGSは玄米(製品)数量で計算しています。

受入内訳 (単位: 俵、%)

受入箇所	受入数量	比率
ライスターミナル	94,570.5	99.5%
奈井江検査場	991.0	0.5%
合計	95,561.5	100.0%

東京でこだわりの「ゆめぴりか」をPR

室井米穀畜産課長は水稻生産団体「カエル倶楽部」の杉本雄馬氏と令和5年10月24日、東京で開かれた第2回「みどりの北海道チャレンジ」に参加しました。

同チャレンジは「みどりの食料システム戦略」や「SDGs」に沿った「環境負荷」軽減につながる米生産の拡大を目指し、「2050年までに目指す姿」として示されている「化学肥料3割低減」「化学農薬5割低減」の項目を既に達成している産地と販売先とのマッチング機会を創出し、全国に広く紹介・商品化につなげる取り組みで今年で2回目となります。

今回は全道10産地のこだわり米と一緒にカエル倶楽部の「高度クリーン米ゆめぴりか」を全国のバイヤー・お米屋さんにてプレゼンテーション、商談を行いました。商談成立となれば今後ホクレンを通して現物市場「みらい米市場」で取引します。室井課長は「参加者の中には既に当JAの取引先も多く、23年産米の質問が多かった」と話しました。また、2人は東京の米屋「スズノブ」を訪れ、5年産米の状況報告や栽培期間中農薬・化学肥料無使用ゆめぴりかの販売に向けた打合せを行いました。その他時間の許す限り東京で取引のあるお米屋さんにも訪問し「取扱い米の中でも人気が高い」というお声をいただきました。



プレゼンテーションを行う杉本雄馬氏と室井課長



会場には多くの来場者が訪れた



（株）スズノブさん（東京都）



（有）富沢精米店さん（東京都）



おこめひろば有限会社野口商店さん（東京都）



青果物共計三部会 各市場へ出荷終了挨拶

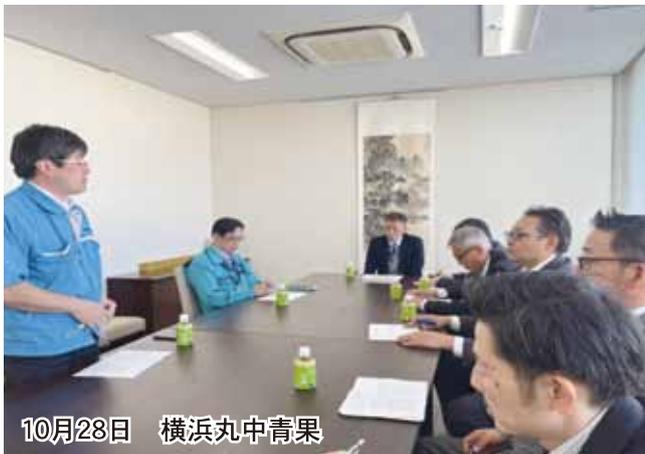
トマト、ミニトマト、キュウリの各生産団体長は令和5年10月下旬から11月初旬、令和5年度の出荷終了あいさつに取引先の各市場を訪問し、商品到達後の品質確認、5年度の販売状況や次年度に向けての販売戦略などについて意見交換を行いました。



10月26日 大果大阪青果



10月27日 名古屋 セントライ青果



10月28日 横浜丸中青果



11月2日 札幌みらい青果

学校給食にゆめぴりか寄贈

JA新すながわゆめぴりか生産協議会（熊谷智克会長）は令和5年11月8日、奈井江町役場と砂川市学校給食センターを訪れ、令和5年産「特別栽培米ゆめぴりか」合計280^{kg}を寄贈しました。

今回提供されたお米は同月15日砂川市と奈井江町を含む1市3町の小中学生の給食と12月に奈井江町認定こども園でおにぎりとして提供されました。



奈井江町役場にて



砂川市学校給食センターにて

カエル倶楽部が反省会を開催

高度クリーン米生産グループ「カエル倶楽部」は令和5年11月20日、奈井江支所で本年度の反省会を開き、会員12名と来年度入部予定の3名、普及センター職員等21名が参加しました。

反省会前には恒例の「ゆめぴりか」の食べ比べを実施。JAの林組合長と渡部専務も加わり、食味が一番良いお米を決めました。15名が生産したお米を3つのグループに分けて名前を伏せて試食し、それぞれで一番おいしいと思ったお米を多数決で決め、残ったお米を再度試食した結果、奈井江町大和地区林博美氏が優勝し千徳信行代表から金一封を受け取りました。

反省会では本年度の生育管理や技術対策について協議を行い、千徳代表は「今年の高湿は自分たちの栽培技術を超えた異常なものだったと思う。カエル倶楽部はJA新すながわの中でも良いお米を作るリーダー的存在。いかなる年でも他の生産者より良い成績を残したい」と会員相互で協力し合い高品質なお米作りを続けることを誓いました。



持ち寄ったお米の食べ比べをする会員



優勝した林博美さんと千徳信行代表

JA青年部が高校生と意見交換会を実施

中空知JA青年部（JAピンネ・たきかわ・新すながわ）は令和5年11月24日、新十津川農業高校農業コースの2・3年生23名と農業についての意見交換会を開きました。

これは学生が農業に携わる若手農業者と意見交換を行う中で、異世代とのコミュニケーション能力の向上、「食」と「農」の結びつきについて理解を深める機会として行っており、今年はコロナ禍を挟んで数年ぶりの開催となりました。

意見交換会では「農業に対するイメージ」と「自分が農業に携わるなら」をテーマに6班に分かれグループ討議が行われ、当JA青年部からは6名が参加。討議では学生から農業に対して率直な意見や質問が出され、青年部員は農業に対する考え方や取り組みを伝えました。

今回の意見交換会に参加した近藤親吾青年部長は「学生からは活発な意見があり農業についてよく勉強していることに驚いた。学生の農業を大切に思う心が伝わりとても有意義な時間を過ごせた。」と話しました。



グループに分かれて真剣に議論する青年部員



年金友の会 秋の親睦旅行 開催

新すながわ農協年金友の会は令和5年10月25日から2日間、十勝・帯広方面へ1泊2日の親睦旅行に行き、39名が参加しました。

初日は、「新得そばの館」で現地の上質なそばを味わい、「明治なるほどファクトリー十勝」でチーズやクリームなどの乳製品の製造工程を見学。その後「いけだワイン城」でワイン醸造所を見学してワインの試飲も楽しみました。宿は笹井ホテルに泊まり、夕食の宴会ではビンゴ大会で盛り上がり、会員同士で話に花を咲かせました。

2日目は「柳月」や「道の駅おとふけ」をはじめ「とかちむら産直市場」「フラノマルシェ」などを訪れ、地元では購入できない商品の買物をそれぞれに楽しみました。

両日とも天候に恵まれ参加者には忘れられない旅行となりました。



いけだワイン城で醸造所を見学

女性部親睦旅行



各人各様のポプリを作りました

JA女性部は令和5年11月6日から2日間、洞爺湖方面へ親睦旅行に行き、事務局を含め25名が参加しました。

初日は白老町にあるナチュの森で「ポプリ（乾燥した花をアロマオイル等で香り付けした袋）」作りに挑戦。スタッフに教わりながら作成した袋には様々な絵柄のスタンプを押し個性がでていました。宿は洞爺湖万世閣に泊まり、宴会では農作業期間はできなかった部員同士での話に花が咲き、温泉で日頃の疲れを癒しました。

2日目は今年7月に狸小路にオープンした都市型水族館「AOAO SAPPORO」に立ち寄り、250種類、4000点の展示を見学しました。最先端の展示方法やかわいらしい動物たちに部員達は喜んでいました。

青年部研修旅行

JA青年部は令和5年11月8日から2日間、部員同士の交流を深めるため毎年実施している親睦旅行を行い、事務局を含め16名が参加しました。

今年研修先に選んだのは北広島市にある「ボールパークFビレッジ」内にある「KUBOTA AGRI FRONT」です。最先端の作物栽培などを見学し“食と農業”の未来について学びました。その後エスコンフィールドHOKKAIDOも見学し、北海道を代表する施設に部員達は興味津々で施設内を見学しました。



球場内のベンチにて

水稲団体が道外視察を実施

ゆめぴりか生産協議会と特別栽培米生産組合は昨年末、4年振りに道外で取引のあるお米屋さんや米どころのJAを訪問し、意見交換や販売状況の確認を行いました。



11/20 JA秋田おばこさん(秋田県)



11/21 多田米穀店精米番長さん(大阪府)



11/21 お米の丸純さん(兵庫県)



11/21 いずよねさん(兵庫県)



11/22 上六米穀店さん(大阪府)



11/22 新宅米穀店さん(大阪府)



11/27 米豊商店さん(愛知県)



11/27 粧屋さん(愛知県)



11/27 名古屋食糧さん(名古屋市)



11/28 石うす屋 中村米穀店さん(愛知県)



11/28 水車屋さん(愛知県)



11/28 お米工房あみや商事さん(愛知県)



11/28 六名米穀店さん(愛知県)



11/28 小川米穀店さん(愛知県)



11/29 米幸商店みずほの国さん(愛知県)

女性部「もぎたて市」研修旅行

女性部「もぎたて市」はAコープA i A iでの販売もひと段落し、令和5年11月21日から2日間、帯広方面へ研修旅行に行きました。事務局を含め14名が参加。

初日は年金友の会と同様「明治なるほどファクトリー十勝」にて、乳製品の製造工程を見学したり、「いけだワイン城」で買物をしたり楽しみました。

2日目は帯広市内で地元食材を使用した洋菓子店などでお土産を買い、「道の駅おとふけ」で野菜の直売所を見学しました。

会員各自、来年度の販売に向け、色々なアイデアを浮かばせながらの旅となりました。



青果物共計三部会 精算報告会議を開催

共計青果物のトマト、ミニトマト、キュウリの精算報告会議が令和5年11月29日、奈江支所にて開かれました。

令和5年度は、例年にはないくらいの酷暑となり8月上旬頃までは前進出荷、お盆以降は前進出荷の影響と酷暑による花とび・着果不良により出荷量は激減しました。

酷暑の影響による全国的な出荷量の減少により後半は例年にはないくらいの高単価となりましたが出荷量が少ないため昨年になんとかに届かない結果となりました

各生産部会長は「次年度も高温対策を徹底し栽培管理を行っていききたい」と話しました。



共計青果物精算実績

(単位：千円)

	R5年	R4年	増減
トマト	179,546	200,472	▲20,926
ミニトマト	297,626	337,226	▲39,600
キュウリ	155,255	155,312	▲57



精算会議で挨拶をする各生産部会長（左から）

加藤裕司砂川トマト生産組合長、関尾一史砂川ミニトマト部会長、佐藤彰純砂川キュウリ部会長

令和6年4月1日

スタート

相続登記の申請が
義務化されます

ご存じですか？

詳しくはこちら



不動産登記関連イメージキャラクター
「トウキツネ」

法務省民事局
MINISTRY OF JUSTICE CIVIL AFFAIRS BUREAU





理事会審議報告

第12回理事会（11月27日開催）の顛末をお知らせします。

◎報告事項

- 一、組合長会議報告
- 二、農業委員会報告
 - ①砂川市農業委員会
 - ②奈井江町農業委員会
- 三、各委員会報告
 - ①農家経営改善委員会
 - ②玉葱販売委員会
- 四、十月末財務報告について
- 五、内部監査報告について
- 六、主要農産物の概要について
- 七、理事者への資金実行報告について
- 八、マネロン・テロ資金供与対策に関するアンケート報告について
- 九、四半期報告について
- 十、組合員の異動について
- 十一、行事予定について
- 十二、その他

◎付議事項

- 議案第一号 年末手当の支給について
- 議案第二号 令和四年産共計玉葱の精算について
- 議案第三号 令和五年産共計玉葱概算金の追加支払いについて
- 議案第四号 令和五年産共計そば概算金の支払いについて
- 議案第五号 令和五年度畑作物直接支払交付金数量払に係る仮払い実施要領について
- 議案第六号 経営者保証に関するガイドライン取組方針について
- 議案第七号 出資の減口について
- 議案第八号 信用評定について

組合員の動き

- ◎今回加入 正組員 〇名
准組員 四名
- ◎今回脱退 正組員 四名
准組員 一二名
- ◎合 計 正組員 五四三名
准組員 二、五二七名

職員の動向

- 退職（11月7日付）
金融共済部奈井江支所金融共済課主幹 秋田谷 圭祐

合格おめでとう
ございます

農協資格認定試験

《初級》

道下 由香（経済部資材課）

避難訓練を実施

令和5年11月22日、AコープA i A i店にて火災発生を想定した消防避難訓練を行いました。暖房器具の使用増加と、空気の乾燥により火災発生率が上昇する季節を迎え、従業員各々の防火意識を高め、火災発生時における避難誘導等担当業務の再確認を行い、万一の場合の備えを確認しました。



CAUTION CAUTION CAUTION

闇バイトはアルバイトではありません。

強盗、窃盗、特殊詐欺などの

犯罪の実行犯として

捕まるまで利用されます。

CAUTION CAUTION CAUTION

強盗罪：5年以上の懲役 詐欺罪：10年以下の懲役

窃盗罪：10年以下の懲役又は50万円以下の罰金

年末年始 営業時間のご案内

		12月29日(金)	12月30日(土)	12月31日(日)	1月1日(月)	1月2日(火)	1月3日(水)
管理・営農・販売		通常営業 8:30~17:00	休業	休業	休業	休業	休業
砂川資材店舗		通常営業 9:00~15:00	休業	休業	休業	休業	休業
奈井江資材店舗・整備工場		通常営業 8:30~16:00					
金融・共済 (窓口)	本所	通常営業 9:00~16:30	休業	休業	休業	休業	休業
	奈井江支所						
ATM	本所	通常営業 8:45~18:30	9:00~17:00	9:00~17:00	休業	休業	休業
	奈井江支所	通常営業 8:45~16:30	休業	休業			
ホクレン給油所	砂川給油所	通常営業 8:00~18:00	通常営業 8:00~18:00	給油のみ 8:00~17:00	休業	休業	休業
	奈井江給油所	通常営業 7:00~20:00	通常営業 7:00~20:00	給油のみ 7:00~17:00			
Aコープ新すながわ店 (ホクレン商事)		1階 9:00~20:00 2階 9:00~19:00	1階 9:00~20:00 2階 9:00~19:00	1階 9:00~18:00 2階 9:00~17:00	休業	休業	1階 9:30~19:00 2階 9:30~19:00
Aコープないえ店 (ホクレン商事)		9:00~19:00	9:00~19:00	9:00~18:00	休業	休業	9:30~19:00

		1月4日(木)	1月5日(金)	1月6日(土)	1月7日(日)	1月8日(月)	1月9日(火)
管理・営農・販売		休業	休業	休業	休業	休業	通常営業 8:30~17:00
砂川資材店舗		休業	休業	休業	休業	休業	通常営業 9:00~15:00
奈井江資材店舗・整備工場							通常営業 8:30~16:00
金融・共済 (窓口)	本所	通常営業 9:00~16:30	通常営業 9:00~16:30	休業	休業	休業	通常営業 9:00~16:30
	奈井江支所						
ATM	本所	通常営業 8:45~18:30	通常営業 8:45~18:30	通常営業 9:00~17:00	通常営業 9:00~17:00	休業	通常営業 8:45~18:30
	奈井江支所	通常営業 8:45~16:30	通常営業 8:45~16:30	休業	休業		通常営業 8:45~16:30
ホクレン給油所	砂川給油所	給油のみ 8:00~17:00	給油のみ 8:00~17:00	通常営業 8:00~18:00	休業	通常営業 8:00~18:00	通常営業 8:00~18:00
	奈井江給油所	給油のみ 7:00~17:00	給油のみ 7:00~17:00	通常営業 7:00~20:00	通常営業 7:00~20:00	通常営業 7:00~20:00	通常営業 7:00~20:00
Aコープ新すながわ店 (ホクレン商事)		1階 9:00~20:00 2階 9:30~19:00	1階 9:30~20:00 2階 9:30~19:00	1階 9:30~20:00 2階 9:30~19:00	1階 9:00~20:00 2階 9:00~19:00	1階 9:30~20:00 2階 9:30~19:00	1階 9:30~20:00 2階 9:30~19:00
Aコープないえ店 (ホクレン商事)		9:30~19:00	9:30~19:00	9:30~19:00	9:30~19:00	9:30~19:00	9:30~19:00

※Aコープないえ店内のATMにつきましては、1月1日・2日は停止いたします。その他は店舗営業時間帯は使用出来ます。
 ※年末・年始の上記休業期間中に、ご契約のお車の事故やトラブルに遭われた方は下記にてご連絡願います。

フリーダイヤル 0120-258-931